

平成25年度 吹田市教育研究大会報告

平成25年11月29日発行 吹田市教育研究大会事務局

8月27日(火)に平成25年度吹田市教育研究大会を実施しました。今年度は「今 吹田から 未来(あす)の力を ～地域に根ざした質の高い公教育の創造～」をメインテーマとし、重点課題である「グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力の育成」をサブテーマに据え、全員参加の講演会形式にリニューアルしました。

当日は前半に本市教育委員のみなさまからの力強くあたたかなメッセージをいただき、後半では桂かい枝さんの世界を相手にした奮闘ぶりをご講演いただきました。披露していただいた英語落語の演目は教科書にも収録された「動物園」で、会場は大いに盛り上がりました。

以下に教育委員メッセージと桂かい枝さんの講演の要旨を紹介します。

〔教育委員メッセージ〕

小谷委員長

大津の事件以後、いじめの問題が後を絶ちません。先生方にはアンテナを高く掲げ、家庭と連携をとりながら、チームを組んでの対応をお願いします。

本市教育の重点課題である「グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力」というのは自分の主張だけではなく、言葉や文化を越え、相手を理解しながらお互いにつながることで私と考えます。

この夏、金子みすずの詩に触れる機会がありましたが「みんなちがってみんないい」というのは優劣をつけたがる現代において貴重な言葉だと思った。ぜひ、感動するような言葉に幼少の頃から慣れ親しむような教育を展開してください。

大谷委員長職務代理者

この夏、イチロー選手の日米通算4000本安打に感動しました。積み重ねの上にてきた本記録のように、教職員のみなさんも日々、子どもとのつながりを積み重ねていただいています。今日の学びをぜひ生かしていただきたいと思います。

宮下委員

先日、同窓会で当時の担任の先生に再会しました。当時の子どもに戻ったような気がして心が温かくなりました。先生と生徒というのは素晴らしい関係だなど改めて思いました。どうぞみなさんも、毎日の子どもとの生活を楽しんでください。

鈴木委員

変化への対応が重要だという考えもありますが、私は不変なものも同様に大切だと考えます。教育の「不変」は全ての科目をしっかりと学ばせることであり、子どもに合わせた工夫をすることも大事だと考えます。今日の学びをぜひ教育に生かしてください。

河内委員

先生方が日々一所懸命、子どもたちの教育に取り組まれていることに感謝しております。先日、中学総体を見学し、子どもたちの行儀のよさや一途さに熱い思いを感じました。先生方のご苦勞に感謝するとともに教育委員としても力になりたいと思っております。



〔桂かい枝さん講演〕

日本人にはユーモアを理解する力に乏しいといわれていますが、そんなことはありません。日本には落語や狂言など笑いの文化があります。さまざまな国で公演を行いました国文化の違いに戸惑うことがたくさんありました。自分が英語を好きになったのは中学校時代の先生との出会いがあったからです。先生が自身の海外体験を語ってくれたことが外国への憧れにつながったのです。英語と日本語は文化が違い、日本語は「間」の文化であり「引く」文化です。一方、英語は「踏み込む



文化」なので、日本と同じ調子で落語をしても外国では「自信がないのか？」と受けません。同じアジアでも中国語や韓国語は英語に近い言語なので、上達も早いのです。だから、日本人が英語をしゃべるときには一歩踏み込むようにしたら良いということを外国で学びました。自信を持って主張することが大事なのです。落語という文化を海外の人に知っていただくのは難しいのかも知れませんが、私の夢は英英辞典に「RAKUGO」がとりあげられることです。それを目指して頑張りたいと思いますので、みなさんも未来をつくる子どもを育てるということを頑張っていたいだきたいです。

〔西川教育長 閉会あいさつ〕

今の小学生の65%が今はまだ存在していない職業につくという話がある。急激な情報化・グローバル化、一地域で起こった変化が瞬間に他の地域に広がり影響を及ぼす社会。自らのアイデンティティーを確立しながらも、多様性とそれに対してコミュニケーションしながら課題を乗り越えて行くことが求められる社会。今の子どもたちはそんな時代に向かっている。その子どもたちの教育を皆さんが最前線で支え担っている。教育においては、とかく、不信感やマイナスの事象ばかりが取り上げられるが、教育委員会は現場に寄り添う姿勢である。まずは、目の前の子ども・保護者の信頼が欠かせない。地道な現場の実践を期待したい。

〔研究大会について〕

1. 教育研究大会参加者 **1498名** 内訳

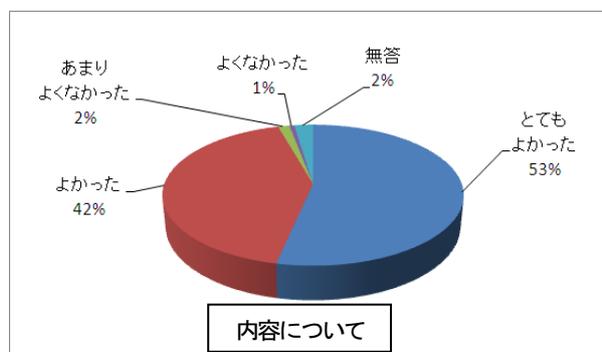
	幼稚園	小学校	中学校	合計
人数	56人	989人	453人	1498人

2. アンケートについて

■ 回収数 **641通** (回収率 43.7%)

■ 設問「教育研究大会の内容について」

項目	人数
とてもよかった	342人
よかった	271人
あまりよくなかった	9人
よくなかった	4人
無答	15人



—参加者の声から—

- ・ 教育委員長のお話が良かった。現代社会はすべてに優劣をつけたがるが一人ひとりの人権が大切であることを我々が忘れてはいけないことだと思いました。
- ・ 教育委員からのメッセージは、それぞれ違いもあり良かった。
- ・ 相手に伝える、わかってもらえる喜び、わかりたいと思わせることの大切さを感じました。子どもたちへの伝え方も工夫次第と思いました。英語落語をわかってと真剣に聞きました。身振りやヒントを手掛かりに笑って楽しめました。ありがとうございました。
- ・ 夢を追いかけるかい枝さんのパワーに圧倒されました。私も夢を語り続け、夢を持つことの素晴らしさ、エネルギーを子どもたちに伝えていきたいです。
- ・ 私自身は、英語が苦手でした。今日、英語でこんなに笑うことができたのに驚いています。学びは楽しさが大切なことに改めて気づかされました。
- ・ すごくわかりやすい楽しい研修でした。目からうろこ 落語の魅力と再発見ができました。教師の果たす役割の大きさにも身が引き締まる思いがしました。ありがとうございました。
- ・ 研究大会がなぜ英語なのか？よくわからなかったです。個人的には楽しませてもらいました。
- ・ 英語落語の公演は、ぜひ中学生の子どもたちにも聞かせてほしいです。文化の違いなど興味深いです。
- ・ すいたえいごキッズの実施報告は実際に見学させていただいたこともあり、興味深く聞かせていただきました。また、かい枝さんの講演では英語を通じて日本と海外の国との文化の違いを学ぶことができ、かつ英語落語の面白さを感じることができました。ありがとうございました。